

施策評価シート（平成26年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	2-5	政策名	福祉の充実	政策の 目指す姿	慣れ親しんだ地域で、共に支えあい、安心していきいきと暮らしています	施策 主管課	長寿福祉課	施策主管 課長名	平賀 公子
	施策No.	2	施策名	高齢福祉の充実	施策の 目指す姿	高齢者が元気で生きがいを持ち、安心した生活を送っています	関係課名	地域福祉課、健康づくり課		
	現状と課題	・高齢者の多くが趣味や生きがいをもって生活していますが、老人クラブやボランティア活動など地域の活動に参加しない人も少なくない状況です。 ・高齢化や核家族化に伴い、一人暮らし高齢者や高齢者世帯が増加しているほか、要介護等認定者や認知症高齢者の数も年々増加しています。 ・家族の介護負担の増加が問題となっており、介護や福祉サービス利用についての相談等、高齢者に関する相談件数が増加しています。								

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

(1)高齢者の社会参加の推進

- ・外出機会及び交流機会の提供のための湯のまちホット交流サービス事業、いきいきホーム事業の実施
- ・単位老人クラブ及び市老人クラブ連合会への活動事業補助
- ・新たな総合事業の構築に向けた介護支援ボランティア制度の調査研究

(2)高齢者の生活支援の充実

- ・高齢者の生活支援のための軽度生活援助事業、高齢者等住宅改修事業、日常生活用具給付・貸与事業、高齢者福祉タクシー券給付事業、配食サービス等の実施
- ・花巻中央包括支援センターの新館移転のワンフロア化による相談機能の充実
- ・居宅擁護の困難者に対する状況に応じた入所措置の実施
- ・認知症高齢者の権利を擁護するための成年後見制度による支援
- ・地域包括支援センターとの連携による、介護予防ケアマネジメント・総合相談・権利擁護等の支援の実施

(3)高齢者の健康づくりの推進

- ・寝たきり予防、認知症予防等の介護予防教室の実施
- ・認知症セミナーの開催、キャラバンメイト・認知症サポーターの養成

(4)介護サービスの充実

- ・第5期介護保険事業計画に基づく施設整備への指導及び支援
- ・要支援・要介護にならないための通所型介護予防事業、訪問型介護予防事業の実施。
- ・家族介護者を対象とした介護教室や介護者交流会、在宅介護者等訪問相談事業等の実施
- ・医療介護連携バス事業等による居宅介護支援事業所・包括支援センターと医療機関の連絡体制の確立
- ・介護サービス施設の運営委員会への出席による指導助言

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
生きがいを持って暮らしている高齢者の割合	「生きがい」を持つことは、生きる張り合いを持つことであることから、高齢者が慣れ親しんだ地域で、地域活動やボランティア活動などを通じて、積極的に社会貢献を行っているかを示す指標	出典：市民アンケート 問：あなたは、生きがいを持って暮らしていると思いますか。 (1)そう思う (2)どちらかというと思う (3)どちらかというと思う (4)そう思わない (5)わからない (1) (2)と答えた65歳以上の割合	%	目標値				75.9	77.2	78.5
				実績値	82.3	76.6	73.9	72.5		
高齢者が必要なときに必要なサービスを受けていると感じる市民の割合	高齢者が慣れ親しんだ地域で安心していきいきと暮らしていくために、個々に応じた必要な高齢者福祉サービスを必要な時に受けられる環境になっているかを示す指標	出典：市民アンケート(新規) 問：あなたも含めて身近な高齢者が、必要なときに必要な介護保険や高齢者福祉サービスを受けていると思いますか。 (1)受けていると思う (2)ある程度は受けていると思う (3)受けていないと思う (4)どちらともいえない (1) (2)と答えた市民の割合	%	目標値				72.1%	73.2%	74.3%
				実績値	-	73.9%	70.6	72.7%		
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>■成果指標「生きがいを持って暮らしている高齢者の割合」……【達成度b】 高齢者の方々は老人クラブや各種サークル、生涯学習等の各種講座への参加活動等を行っているが、高齢者の代表的な活動団体である老人クラブの組織の動向を見ると、年々単位老人クラブ数および会員が減少傾向にあり、達成度が伸びない原因のひとつと考えられる。(単位クラブ数 H23:152団体⇒H26:139団体、会員数 H23:6,867人⇒H26:5,960人)</p> <p>■成果指標「高齢者が必要なときに必要なサービスを受けていると感じる市民の割合」……【達成度a】 前年に比較し微増であるものの、要介護等認定者数の増加に伴うサービス受給者や介護者の増加などから、介護保険サービスや高齢者福祉サービスへの意識が高まりつつある。(要介護等認定者数 H23:5,512⇒H26:6,159人、サービス受給者数 H23:4,567⇒H26:5,155人)</p>

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1	高齢者在宅生活支援事業	長寿福祉課	A	C
	○ひとり暮らし高齢者緊急通報体制整備事業… 緊急通報装置162台設置(H25:181台) ○在宅高齢者生活支援事業… 軽度生活支援事業・実利用者数:298名、利用時間1,477h (H25:200名、1,774h) 高齢者福祉タクシー券給付事業・交付者数:1,267人、利用枚数:22,875枚 (H25:1,216人、21,501H枚) 高齢者住宅改造事業補助事業・利用件数:19件、4,669千円 (H25:35件、8,571千円) ○寝たきり高齢者生活支援事業… 寝具洗濯乾燥消毒サービス事業・利用者:4名、延件数:6件(H25:12名、20件) 訪問理美容サービス事業・利用者:11名、延利用件数:17件 (H25:12名、20件)			
2	高齢者介護予防対策事業	長寿福祉課	A	B
	○湯のまちホット交流サービス… 60歳以上4人以上の団体へ入浴及び部屋での休憩を無料提供・延べ利用者:34,104人 (H25:32,795人) ○生きがい活動支援通所事業… 介護保険認定の受けない高齢者への日常動作訓練、健康チェック等の実施・延利用人数:5,142人 (H25:5,434人) ○いきいきホーム事業… 東和はつらつ長寿館を活用した介護予防事業・139回開催、延べ利用者数:2,998人(H25:138回、2,612人)…H27年度から市民サービス課事業			
3	高齢者福祉サービス提供事業	長寿福祉課	B	B
	○介護サービス利用者支援… 介護保険サービス利用者負担軽減を実施する社会福祉法人に軽減額の一部を補助・対象者51人、2,361千円 (H25:53人2,002千円)			
4	高齢者福祉サービス基盤整備事業	長寿福祉課	A	B
	○老人福祉施設建設資金借入償還金補助… 老人福祉施設の新築、改築時の借入資金の償還を補助・対象施設:8施設、60,148千円 (H25:9施設、84,946千円) ○介護サービス施設整備補助… 新設介護サービス施設整備補助・対象施設:3施設、116,000千円 (H25:3施設176,000千円)			
5	高齢者交流活動支援事業	長寿福祉課	A	A
	○ふれあい・あんしん交流事業補助 社会福祉協議会補助金・昼食会・サロン補助金合計1,600千円 サロン数1756 述べ開催数2,159回、延べ参加者数:29,639人 (H25:サロン数168 1,700千円) ○敬老会事業補助 …各地区の敬老会開催を支援・開催会場:83か所、参加者:6,180人、参加率:37.3%、補助金:21,335千円 (H25:83か所、6,308人、38.5%、19,682千円)			
6	高齢者社会参加活動推進事業	長寿福祉課	A	C
	○老人クラブ事業補助金… 高齢者の豊かな知識や経験を生かしたスポーツ、文化活動、恋愛活動、奉仕活動等への支援 老人クラブ連合会事業補助金・2,794千円(H25:2,877千円)、 単位老人クラブ・クラブ数:139団体、会員:5,960人、補助金:4,131千円、(H25:148団体、6,360人、4,609千円)老人クラブ特別活動事業補助金・400千円(H25:400千円)			
7	高齢者保護措置事業	長寿福祉課	A	B
	○高齢者措置事業… 養護老人ホームはなまき荘指定管理業務委託等、養護老人ホームへの入所措置 花巻市高齢者短期入所事業委託・措置数:84名、措置金額:207,382千円 (H25:87名、210,179千円)			

5 施策を構成する事務事業の検証

<p>(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)</p> <p>ない</p> <p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ふれあいホーム(サロン)事業(身近な地域で外出・交流機会を提供する事業) ・地域世代間交流やボランティアの創意工夫による運営による、介護予防事業 ・通いの場における介護予防教室の推進 : 元気でまっせ体操の普及、継続(新たに取り組むべき事業はないか) ・「認知症地域支援推進員」や「認知症初期集中支援チーム」の設置。 ・年々増加傾向にある認知症の人の早期診断・早期対応のための

6 施策の総合的な評価

<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年々進展する高齢化に伴い、2025年問題(団塊の世代が後期高齢者となる時期)を見据えながら、高齢者生きがい活動の促進を図るための事業や要支援・要介護にならないための介護予防事業の重点化を図る必要がある。 ・医療介護の濃密なネットワークを構築して、きめ細やかな医療介護サービスを提供する必要がある。 ・介護サービス施設の整備は、介護保険料の増高に影響を及ぼすが、整備に対する市民の根強い要望がある。 <p>(今後の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者生きがい活動の促進を図るために、日常生活圏(集落等)単位で、高齢者が地域の中で役割を持っていきいきと生活できるよう、農作業等の有償ボランティア活動等による収入を得ながら、自らの生きがい・健康づくり・介護予防につながる活動のための仕組みづくりを構築する。 ・在宅医療、介護連携を図るために、医療機関や地域包括支援センター等による協議体や医療介護連携コーディネート機関を設置しその推進を図る。 ・介護サービス施設の整備について、本市における高齢者人口の動向を中長期的に的確な把握を行い、在宅待機者の解消に向けた介護サービス施設の整備に努める。
